事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和08年06月19日(金)

事務事業	消防団車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52132

総合計画				事業区分	■ 自治事務　□ 法定受託事務
	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	根拠法令 個別計画等	ＮＯｘ・ＰＭ法
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		
	小項目	2	消防・救急体制の充実		
	主要プロジェクト				

事業概要	複雑多様化する災害に対応するために、老朽化した消防団車両に対して順次、最新の消防団車両へ更新を行うことにより、各種災害に対応できる体制を整備するものである。また、災害対応における消防団員の安全確保のため、消防団車両２６台の維持管理並びに車検整備をすることにより、常時運行可能な状態に保つものである。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害に対して、被害の軽減をするとともに安全性を確保するため。
対象 ※誰・何を対象に	消防団車両
手段 ※どのように	最新の消防団車両への更新、車検整備などの維持管理をする。 ※車両年次整備計画を見直し、車両運行状況や社会情勢を見極め消防団車両の更新を実施する。
成果 ※何を求めるか	消防団車両を常時運行可能な状態に維持し、火災等の災害に常時対応できる体制を整備する。
執行体制	■職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 □市民ボランティア　□NPO等　□その他(　　)

事務事業を構成する予算事業

区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両購入事業	22,143,360
一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防団車両維持管理事業	3,369,681

本事業の主な業務

・消防団車両の更新	・
・消防団車両の維持管理	・
・車検整備	・
・消耗品の購入	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

※令和７年度は決算見込み額です。

単位：円

区分			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画			第２５分団	第１３分団		第９分団	第６分団	
事業費	予算（現額）		23,817,000	25,012,000	3,364,000	25,672,000	28,287,000	
	決算額		23,065,865	23,865,248	3,180,495	25,513,041	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	19,600,000	20,700,000	0	22,000,000	17,800,000	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	3,465,865	3,165,248	3,180,495	3,513,041	10,487,000	
人件費	従事職員数（人）		0.70	0.75	0.70	0.75	0.70	
	人件費相当試算※		5,508,690	6,007,624	5,755,569	6,357,821	6,165,942	
総事業費試算			28,574,555	29,872,872	8,936,064	31,870,862	34,452,942	

※　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

３．評価指標

区分	指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動指標１	車両更新率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	0.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		車両年次整備計画に基づき目標値を設定　/　更新台数／更新予定台数						
	実績値の算出式								
活動指標２	維持管理した消防団車両数	目標値	台	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	
		実績値		26.00	26.00	26.00	26.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全消防団車両を維持管理するため、消防団車両数が目標値　/　消防団車両数						
	実績値の算出式								
成果指標１	火災等の災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		火災等の災害に対し、対応することが消防の責務であるため、目標値は１００％　/　災害対応数／災害数						
	実績値の算出式								
成果指標２	車両トラブルにより災害に出動できなかった回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各種災害へ出動し、対応することが責務のため、目標値は０とする。　/　災害への出動不能回数						
	実績値の算出式								
成果指標３	１台あたりに係る管理経費	目標値	千円						
		実績値		1,099.02	1,148.95	347.42	1,225.80		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		法定点検車両台数の増減により、管理経費が変化するため、目標値が設定できない。　/　総事業費／団車両台数						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

４．観点別評価

（１）事業達成度評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している　B:おおむね達成している　C:達成していない）

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	法令に基づく車検整備及び定期点検を計画的に実施した。 車両に不具合が発生した際には、迅速に対応し常時運行可能な状態を維持した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	法令に基づく車検整備及び定期点検、不具合に対する迅速な対応をすることで、災害対応が問題なく行えた。
		評価者	課長補佐兼警防企画係長　藤野　透

（２）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である　B:高める余地あり　C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	車両年次整備計画に基づき、計画的な事務を進め車両更新を行った。 維持管理車両の全てを計画的に車検整備及び定期点検を行うことで、有効な運用を可能とした。
		評価者	課長補佐兼警防企画係長　藤野　透